

STAKEHOLDER ENGAGEMENT

ステークホルダーエンゲージメント



方針と活動内容

当社グループは「キューデングループ企業行動憲章」に基づき、お客さまや地域の皆さま、株主・投資家の皆さま、サプライチェーンの皆さま、従業員との信頼向上を図っています。事業活動全体にわたって様々なコミュニケーション活動を推進するとともに、事業運営へのご意見・ご要望を迅速に反映しています。

お客さま	快適で環境にやさしいエネルギーをはじめとした、お客さまのニーズや課題にお応えする商品・サービスを提供し続けるとともに、お客さまの声に寄り添った誠実な対応を行うことにより、お客さまの満足を創造します。
地域・社会	地域・社会の皆さまとの丁寧なコミュニケーションを図り、一緒になって課題を解決していくとともに、地域・社会と協調した事業運営・設備形成を行うことにより、信頼関係を構築します。
株主・投資家	経営品質と企業価値の持続的向上を図ることにより、株主・投資家の皆さまの期待に応えるとともに、積極的な情報開示や持続的な対話を通じて信頼関係を構築します。
サプライチェーン	お取引先との対等なパートナーシップを基盤に、サプライチェーン全体で企業の社会的責任を果たしていくことで、当社グループとお取引先双方の持続的な企業価値の向上に貢献します。
従業員	多様性を尊重し、一人ひとりが能力を最大限発揮できる環境づくりに取り組むことで、従業員が働きがいを感じながら組織とともに成長する企業文化を醸成します。

主なIR活動(2025年度)

(注) IR担当役員は社長及び社長が指名した役員を指す

対象	活動	対応者	頻度
アナリスト 機関投資家	経営概況説明会	IR担当役員	2回
	社長等とのスモールミーティング	IR担当役員、 サステナビリティ推進担当役員	3回
	社外取締役と投資家の対話	社外取締役	2回
	国内・海外投資家との個別ミーティング	IR担当役員、部長等	218回
	テーマに応じた事業説明会／施設見学会	IR担当役員、事業責任者等	2回
	IR関連情報のホームページへの掲載	—	随時
個人投資家	個人投資家向け説明会	IR担当役員、部長等	2回
	IR関連情報のホームページへの掲載	—	随時

投資家との対話内容と対応策

いただいた主なご意見	対応策
「経営ビジョン2035」における利益目標が保守的ではないか。九州の電力需要が伸長するという説明と整合するような利益目標に見直してはどうか。	いただいたご意見を踏まえて、2026年5月に実施した経営概況説明会において、経営目標の見直しを検討する旨を説明しました。物価・金利の上昇リスク、半導体工場やデータセンターによる需要増の可能性等を総合的に勘案しながら検討してまいります。
中東情勢緊迫化を踏まえて、燃料調達の方針をどのように考えているか知りたい。また、収支影響をどのように分析しているのか説明してほしい。	2026年5月に実施した経営概況説明会において、当社の燃料調達にかかる現状や収支影響について説明しました。地政学的リスクをはじめとした事業リスクについて、投資家の皆さまに丁寧に説明してまいります。

社員と経営トップ層との対話(2025年度)

実施者	社長、副社長、常務、支店長、社外取締役 等
時期	2025年9月～2026年2月
実施箇所	支店・支社・発電所・営業センター・配電事業所等 81事業所 グループ会社 21社
参加者数	延べ5,408名
対話で出た質問、意見・要望数	1,324件
対話の主なトピック	・「経営ビジョン2035」の概要 ・経営ビジョン実現に向けたグループ重点戦略の概要と各事業所で取り組むべき施策 ・純粋持株会社体制への移行に向けた検討状況 ・情報セキュリティ・安全・コンプライアンス遵守の徹底 等

詳細はサステナビリティレポート P.51

EMPLOYEE VOICES 対話した社員の声



経営トップ層と直接対話したことは、自分や職場の意見を伝えられる良い機会だった。



グループ会社社員として、モチベーションやエンゲージメント向上につながる良い企画であり、改めて自分自身の付加価値を高めて会社に貢献したいと感じた。



「経営ビジョン2035」について、文面だけでは分からない背景や込められた想い等を経営層から直接聞くことで、より一層理解が深まった。また、新しい経営ビジョンを踏まえ、今後自分の業務にどのように具体化していくかを考える契機となった。

STAKEHOLDER ENGAGEMENT ステークホルダーエンゲージメント

KYUDEN GROUP VOICE

ビジョンの実現に向けた
挑戦や成長ストーリーを発信

2026年4月、キューデングループはステークホルダーとの信頼関係をさらに深め、グループの一体感を高めるために、新たなオウンドメディア「KYUDEN GROUP VOICE」を公開しました。

「KYUDEN GROUP VOICE」は、グループ情報発信の中核として「経営ビジョン2035」の実現に向けた挑戦や成長ストーリーを発信し、グループ共通の価値観や思いを従業員と共有することで、エンゲージメントの向上、誇りや一体感の醸成につなげます。

こうした情報発信を通じて信頼や共感を高め、ファン層の拡大やブランド価値の向上を図るとともに、市場からの期待・評価の更なる向上を目指します。

Will(思い)や情熱、ファクトで描く
キューデングループの今と未来

VOICEでは、単なる情報発信にとどまらず、グループのWill(思い)や情熱、確かなファクトを“ナラティブ(物語)”として紡ぎ、動画や記事を通じて立体的に伝えることを重視しています。

そのため編集部には、広報メンバーに加え、企画・編集・制作のプロフェッショナル(社外スタッフ)も参画。専門性と客観性を取り入れながら、経営の意思や現場の挑戦を、より深く、より魅力的に描く体制を整えています。

VOICE編集部が現場に足を運び、従業員の声を直接聞くことで、その熱量に触れ、一人ひとりの思いや価値観に焦点を当てながら、グループの“今と未来”を発信しています。



NISHIYAMA NOTE



グループ各社の経営トップが描く
ビジョンや思いを伝える

【特別ゲスト・前篇／後篇】
木下晴香さんに聞くーミュージカルと挑戦するカーー
木下晴香さんに聞くーエネルギー、社会を支えるカーー

インサイト



キューデングループの現在地と未来を
わかりやすく伝える

HD化、それはグループ全従業員にとって成長のチャンス！

レガシー



各事業に息づいてきた歴史や思いを紐解き、
世代を超えて受け継がれる価値を描く

【水力発電】先駆者たちの挑戦と受け継がれる誇り

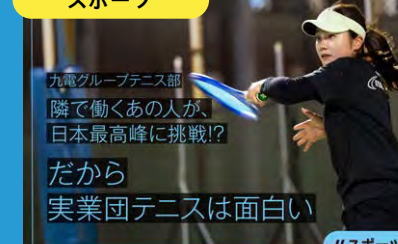
プロジェクト



事業やサービス、プロジェクトを深掘りし、
背景や目指す姿を届ける

【広聴課、ナナガリビビが行く！】世界を変える？次世代太陽電池

スポーツ



部活動やスポーツに打ち込む姿を通じて、
大切に思う価値観や企業文化を表現する

日本リーグへの挑戦。自分を追い込んだ先に見えてきたもの